

老いてなお意地を貫く屋台骨

寺畑 末雄

少子化も見守り隊は賑やかに

田中 たづ子

農業が見直しされる米不足

竹本 タエ子

診察を待つ間に腰は悲鳴あげ

坪郷 英美子

日傘行く炎暑の路面42度

佐藤 哲夫

おいてなおいじをつらぬくやたいぼね

てらはた すえお

しょうしかもみまもりたいはにぎやかに

たなか たづこ

のうぎょうがみなおしされるこめぶそく

たけもと たえこ

しんさつをまつまにこしはひめいあげ

つばごう えみこ

ひがさいくえんしょのろめんよんじゅうにと

さとう てつお

声色を変へしままごと小鳥来る

林 保江

節の付く車掌の駅名青田風

金内 憲一

原爆忌黙礼深く朝厨

村瀧 富子

夏雲や池の鳥居に一礼す

山村 さだ子

丁寧に打水して待つ盆の僧

椎木 道子

こわいろをかえしままごとことりくる

はやし やすえ

ふしのつくしゃしょうのえきなあおたかぜ

かねうち けんいち

げんばくきもくれいふかくあさくりや

むらたき とみこ

なつぐもやいけのとりいにいちれいす

やまむら さだこ

ていねいにうちみずしてまつぼんのそう

しいぎ みちこ

通院に付き添う夫の耳となり
聴き取りにくき左に座る

河野 美津子

宿題の工作抱え友達と
能登仮校舎へ笑顔は走る

山口 正子

オカリナの音色届けるボランティア
こども食堂カレーの匂い

原田 たえ子

ただいまと帰る子供の声の中に
今日も様子が見えかくれする

賤間 星

カフェオレを楽しみ来たと薬屋の
婆の話はジョークを交へ

川本 禮子

つういんにつきそうつまのみみとなり
ききとりにくきひだりにすわる

かわの みつこ

しゆくだいのこうさくかかえともだちと
のとかりこうしゃへえがおははしる

やまぐち まさこ

おかりなのねいろとどけるぼらんていあ
こどもしよくどうかれーのにおい

はらだ たえこ

ただいまとかえるこどものこえのなかに
きょうのようすがみえかくれする

ざいま せい

かふえおれをたのしみきたとくすりやの
ばあのはなしはじょーくをまじえ

かわもと れいこ

自由律俳句

捨てきれない性分は親ゆずり

松下 満江

鎌置いて頬づえつく夕焼け

佐川 智英実

墓そうじ亡母のしぐさに似てきている

西岡 悦子

生きづらくなってもまた今年も彼岸花

賤間 由美子

笑顔でおはよう今日もいいことありそうな

岡部 雅江

すてきれないしょうぶんはおやゆずり

まつした みつえ

かまおいてほおづえつくゆうやけ

さがわ ちえみ

はかそうじははのしぐさににている

にしおか えつこ

いきづらくなってもまたことしもひがんな

ざいま ゆみこ

えがおでおはようきょうもいいことありそうな

おかべ まさえ